



世界に希望を生み出そう

国際ロータリー 2023-2024 年度 前橋北ロータリークラブ会報

2023年12月4日(月) 第1811回

会長 廣木晴久 幹事 上村哲郎

会場監督担当 田中 順路 委員



◇国歌斉唱 君が代
◇ロータリーソング 奉仕の理想

◇会員数 78 名 ◇出席 75.64 %

◇お客様ご紹介

前橋保健センター 保険推進課 石垣 志織 様

◇記念品贈呈

結婚祝 門倉正会員、女屋恭治会員、湯澤晃会員、
三輪田聡会員、塚田憲利会員

誕生日祝 角張智之会員、川口武志会員、
下田一成会員、秋葉亮介会員、
真下遼平会員、半沢冬樹会員、
天田洋平会員

◇ニコニコBOX

三輪田聡会員、真下遼平会員、門倉正会員、川口武志会員、半沢冬樹会員、塚田憲利会員、神澤敏夫会員、石垣昌之会員、湯澤晃会員、角張智之会員、上村哲郎幹事

◇幹事報告 上村 幹事

◇委員会報告 親睦委員会 田中伸志委員長
ゴルフ部 大島秀夫部長

◇外部卓話 石垣志織 様



◇会長の時間 「インドネシアの交通事情」

23年も残り1ヵ月になりました。最近では1年たつのが非常に早く感じることは、私だけではないのでしょうか？ 1年が早く感じることを「ジャーネーの法則」というそうです。この法則は「人生のある時期に感じる時間の長さは年齢の逆数に比例する」というものです。解りやすくいうと、歳を取るにつれて自分の人生における「1年」の比率が小さくなるため、私の場合は60歳なので60分の1、70歳の方は70分の1で、体感として1年が短く、時間が早く過ぎると感じるということだそうです。

日本では旧暦の最後の月を師走、しはす、きわまりつきと呼んでいました。今では新暦の12月に当てはめ師走という12月の和風月名として用いています。

ロータリーの12月は疾病予防と治療月間です。

2014年10月RI理事会は、12月を重点分野：「疾病予防と治療月間」としました。地域社会の医療従事者の能力向上、伝染病の伝播を食い止め、非伝染病とそれによる合併症を減らすための疾病予防プログラム、地域社会の医療インフラの改善、疾病の蔓延を防止することを目的とした、地域住民への教育と地域動員、疾病またはケガによって引き起こされる身体障害の予防、疾病予防と治療に関連した仕事に従事することを旨とする専門職業人のための奨学金支援を強調する月間です。

国際ロータリーの最優先事項であるポリオ根絶活動も、あと少しでポリオ根絶までになってまいりました。是非この機会にポリオプラス・ソサエティプログラム登録を検討して頂きたいと思えます。詳細は今年の6月にメール配信されていますが、必要なら事務局にお問い合わせください。私も登録しました。

さて、私事ではありますが、11月24日から27日まで、技能実習生採用面接のためインドネシアへ行ってきました。2回目の渡航でしたが、昨年の面接はジャカルタで行い、滞在はジャカルタのみでした。今年は送り出し機関の事務所があるジャカルタから東へ150km程離れたバンドンというところで面接を行いました。

インドネシアの自動車は日本と同じ左側通行で、ジャカルタの交通事情は、世界一交通渋滞が激しいと言われるほど、慢性的な交通渋滞が起っていました。どの道も非常に交通量が多く、車の間を縫うようにバイクが走っているため、道路脇を歩いたり、横断することは非常に危険で、在インドネシア日本国大使館からも、防犯上の理由から、徒歩移動は出来るだけ避け、信頼できる車の移動を呼びかけています。

街中に信号はありますが、十字路の場合1ヶ所しか青にならず3方は赤のままなので、待ち時間が多く渋滞してしまいます。なぜだか分かりませんが赤信号でも左折はO.Kらしいです。

信号無視、幅寄せ、割り込み、逆走等は日常茶飯事で対向車がいても僅かな隙間をついて侵入し、対向車がスピードを緩めるとここぞとばかり次々と後続車も侵入してしまう有様です。

その様なので、信号待ちや渋滞などで停車中はとにかく隙間を詰める。車間距離も異様に近く、渋滞していたら中央線からはみ出て、対向車が来てもギリギリまで前に進む。そのせいで対向車が通れなくなり結局渋滞になるのに、先のことを予測せず前へ行こうとする。バイクは混んでいたら歩道を走る。右折しようとしているとさらに右から追い越される。

高速道路では普通に車が流れていても、左側の路肩を走行して追い抜く。警察関係車両も路肩から追い抜いていきました。登坂車線に遅いトラックが走っているときも左側の路肩から追い越す。三車線の道なのになぜか車は4列で走っているなど交通ルールがないようなものでした。

三日間とも車での移動で、不思議と怖い思いは1度だけでしたが、インドネシアではとても自分で運転できないと思えました。行く先々で渋滞にはまってしまって、観光はほとんどできませんでしたが、インドネシア料理と雰囲気は満喫出来ました。

本来の目的である技能実習生採用の面接については、また機会があればお話ししたいと思います。



2024-2025 塩谷年度 役員・理事発表